

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 大神田佳明

学校だより 第8号

令和元年12月4日



とらのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>



人権週間「自尊感情を育む人権教育」

校長 大神田佳明

師走に入り、朝晩の冷え込みが身にしみる季節となりました。12月の全校面談では、ご多用の中ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、12月4日（水）～10日（火）は、第71回人権週間です。国連は、1948年（昭和23年）12月10日の総会において、世界における自由・正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、世界人権宣言を採択したのに続き、1950年12月4日の総会で12月10日を「世界人権デー」と決めました。日本でも、1949年から、毎年12月を「人権週間」を定めて、世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く国民に訴え、人権尊重の普及に努めています。

本校では、平成26・27年度に東京都教育委員会の人権尊重教育推進校の指定を受けて、生徒の人権を守り大切に作る学校づくりと、人権を大切に作る生徒の育成に取り組みました。現在でも、人権教育を基盤とした教育活動を推進しています。今年7月の生徒アンケートでは、「七中は人権が大切にされている学校だと思いますか。」という問いに93.5%の生徒（3年生）が肯定的に答えています。3年間の学校生活で、北朝鮮の拉致問題への理解や、ハンセン病患者への偏見や差別などの人権課題に取り組んだり、インターネットでの誹謗中傷や、いじめによる人権侵害などについて考えたりする学習を通して、人権感覚や人権意識を育んできました。

人権教育の目標は、人権の意義や内容を理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、具体的な態度や行動につなげることです。自分の大切さを認めるためには、自分の良さを認識したり、自分の存在価値を見付けたりできる自尊感情を育むことが大切です。平成28年度に内閣府が実施した「自己肯定感」に関する調査結果を見ると、アメリカ、韓国、イギリスなどの若者が自己を肯定的に認識している割合が70～85%と高いことに比べて、日本の若者は45.8%と、世界と比較して自分を肯定的に捉えている割合が低いことがわかりました。七中では、平成31年度の全国学力学習状況調査（3年生）の生徒質問で、「自分には良いところがあると思いますか。」という問いに、約77.2%の生徒が肯定的に答えていました。これは、都平均74.1%より3.1ポイント高い結果です。さらに、「先生は、あなたの良いところを認めてくれますか。」という問いに、84.1%の生徒が肯定的に答えています。これは、都平均78%より6.1%高い結果です。生徒の自尊感情や自己肯定感を育むためには、様々な体験を通して達成感や成就感を味わったり、周りの人から認められたりして、自分の良さに気付くことが大切です。授業では、生徒一人一人の多様な考えや、新たな見方・考え方を認め合い、学び合える学習環境づくりに努めています。

また、保護者に理解され、認めてもらっていると認識している子供ほど、自尊感情が高い傾向にあります。ぜひ、ご家庭や地域でも、子供たちの成長や頑張りを認め、励ましながら支援や助言をお願いいたします。

これからは、国際化や少子高齢化が進み、多様な人々と一緒に協働して生きていく社会になります。互いの違いを認め合い、人権尊重の理念を正しく理解し、全ての人の人権が尊重される社会の実現に向けて主体的に行動できる力を付けてほしいと思います。

玄関に立派な菊が咲いています

正面玄関に菊の鉢植えが深まる秋を彩っています。菊は1年生が農業体験でお世話になっている、殿ヶ谷地区の藤田久則さんが丹精込めて栽培されたものを毎年お持ちいただいています。三本仕立てや福助菊など、色とりどりで見事な菊の花で、1年間かけて育てた苦労がうかがえます。毎日、水やりなどの世話をしながら菊を楽しみたいと思います。



ハンセン病講演会



11月25日(月)、1年生を対象に、ハンセン病問題を考える勉強会を実施しました。DVDの視聴、ハンセン病資料館を見学した保健委員の話などを通して、ハンセン病に対する正しい知識を身に付けるとともに、差別や偏見について考えました。最後に実施した、ハンセン病問題を扱う弁護士の赤沼氏と元患者の平野氏による講演では、つらい差別の体験や、差別をなくすための自らの使命についての話に加え、若者に向けた強いメッセージをいただきました。(担当 綱島 千津子)

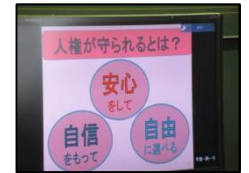
オリンピック・パラリンピック教育講演会



11月19日(火)に、オリンピック・パラリンピック教育の講演会が行われました。「運動オンチのオリンピック」というテーマで、東京女子体育大学教授の秋山エリカ先生にお話をいただきました。最初のボールやリボンの演技の披露では、見事な技に、会場から歓声があがりました。また、自身の体験を踏まえたお話では、失敗を乗り越えること、あきらめずに何回も練習を繰り返すことの大切さが伝わりました。今後の生活や進路に、ぜひ生かして欲しいと思います。(担当 山本昌人)

弁護士によるいじめ防止授業

11月26日(火)、2年生の道徳で、『いじめ防止授業』を行いました。弁護士の古賀礼子先生をお招きし、過去の重大ないじめ事件を通して、実際の資料(いじめに使われた色紙やいじめられ自ら命を断った生徒の遺書の複写)も見ながら、人権という視点から“いじめ”について改めて考えました。自分のふだんの言動について振り返る機会にもなりました。もし、嫌な思いをしていることがあったら、伝えやすい人に伝える勇気をもてるきっかけになったらと思います。(担当 関田光行)



中学生「東京駅伝」大会

第11回中学生「東京駅伝」大会が、2月2日(日)調布市味の素スタジアムのアミノバイタルフィールドで行われます。

本校からは、2年生の黒坂 大也くん、鈴木 海翔くん、仲 尚登くん、鈴木 花歩さん、平泉 輝くん、北條 あかりさん、水野 陽奈子さんの7名の生徒が10月に行われた厳しい選考会を経て立川市代表として選出されました。今後練習会が行われます。応援をよろしくお願いいたします。



数学講師紹介

第11年半ばに数学の講師が決まりましたのでお知らせします。館野宏基(たてのこうき)先生と、石澤政司(いしざわまさし)先生です。

館野先生には2年全クラスと1年1組を、石澤先生には1年2・3組と1年4・5組を担当していただきます。

数学習熟度別授業も順調に再開されました。



館野 宏基 先生 石澤 政司 先生

都立田無工業高等学校より 木製ベンチが 寄贈されました

10月末に、都立田無工業高等学校の建築科の生徒が製作した木製のベンチをいただきました。このベンチは、ほぞ組など日本の伝統的な技術を使って角材を加工して作られています。しっかりした構造で、座り心地も大変良いです。玄関に置いてありますので、ぜひ座ってみてください。



美化委員会・生徒会の活動

11月27日(水)、美化委員会と生徒会で花壇と玄関の階段を飾るパンジーの花植えを行いました。「オリンピック・パラリンピック花壇」には鮮やかな五輪の輪が作られました。



数学講師紹介

11 月半ばに数学の講師が決まりましたのでお知らせします。館野宏基（たてのこうき）先生と、石澤政司（いしざわまさし）先生です。館野先生には2年全クラスと1年1組を、石澤先生には1年2・3組と1年4・5組を担当していただきます。数学習熟度別授業も順調に再開されました。

館野宏基先生 石澤政司先生